

北広島町へ新たな農業参入企業誕生

【平成 30 年 1 月 5 日掲載】

平成 29 年 12 月 17 日、北広島町豊平どんぐり村にて、地元の理解と協力を得るため、来年度農業参入予定の企業が会社説明会と交流会を行いました。

参入予定企業は、広島市の間口グリーンエクス(株)(袋井隆(ふくろいたかし)代表取締役)の子会社である間口アグリファクトリー(株)(浅沼康宏(あさぬまやすひろ)社長)で、北広島町西宗地区に約 3ha の水田を借り受けて、平成 30 年からキャベツを中心に作付し農業経営を始める予定です。

本会の開催へ向けては、北広島町と地元中山間直接支払協定参加者で準備を進めて来ました。中山間協定組織の年度総会終了後、参入予定の間口アグリファクトリー(株)の関係者 5 名から自己紹介と会社の説明及び今後の営農計画等の概略を説明されました。地元からの質問や要望についても期待が感じられる発言で穏やかに説明会は終了しました。その後、信頼関係を築けるよう地元参加者 20 名と懇親を深めました。間口アグリファクトリー(株)の営農開始は、平成 30 年 4 月からの予定で、現在水田の排水対策工事を園芸作物条件整備事業を活用して進められています。

指導所は、参入へ向けての現地土壌調査や営農計画、圃場設計等参入に係る事前準備を行い、西部農林水産事務所、町、JA、全農等の関係機関と調整しながらスムーズな営農開始やその後のキャベツ栽培を支援していきます。



【間口アグリファクトリーから説明を受ける地元参加者】



【司会進行を進める地元西村代表】

情報提供元

西部農業技術指導所